大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F138310110404	設置等組織名	情報学部情報学科
大学名	松山大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	愛媛	事業計画名	地域のミライを創造するデジタル人材育成

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	1-①令和5年8月　新学部設置申請のための支援業務（コンサルテーション）の委託 1-②令和5年8月　新学部への入学意向・採用意向を確認するためのアンケート調査業務の委託 1-③令和5年8月　新学部棟の建設のための基本構想の業務委託 1-④令和5年8月　新学部設置に係る教員の採用活動、カリキュラムの検討 1-⑤令和５年10月　新学部への入学意向・採用意向を確認するための調査実施	1-①令和5年8月　新学部設置申請のための支援業務（コンサルテーション）の委託 1-②令和5年8月　新学部への入学意向・採用意向を確認するためのアンケート調査業務の委託 1-③令和5年10月　新学部棟の建設のための基本構想の業務委託 1-④令和5年8月　新学部設置に係る教員の採用活動、カリキュラム、新学部棟の検討 1-⑤令和５年10月　新学部への入学意向・採用意向を確認するための調査実施	令和5年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	1後-①令和6年4月　新学部の広報に関するホームページ作成 1後-②令和6年4月　新学部の広報に関するパンフレット作成 1後-③令和6年4月　新学部設置補正申請のための支援業務（コンサルテーション）の委託 2-①令和6年4月　新学部棟の新築工事の設計監理（初年度）（R7.7.3承認） 2-①令和6年12月　新学部棟の新築工事（初年度）の着手	1後-①令和6年4月　新学部の広報に関するホームページ作成 1後-②令和6年4月　新学部の広報に関するパンフレット・ポスター・チラシの作成□ 1後-③令和6年4月　新学部設置補正申請のための支援業務（コンサルテーション）の委託□ 1後-④令和6年5月　新学部就任予定者によるカリキュラム運営等の全体会議の実施□ 1後-⑤令和6年9月　新学部の設置認可に伴う広報活動の実施 1後-⑥令和6年10月　新学部の説明会及び高校内ガイダンスの実施 1後-⑦令和6年10月　新学部開設記念講演会の実施 2-①令和6年4月　新学部棟の新築工事の設計監理（初年度）（R7.7.3承認） 2-①令和6年10月　新学部棟の新築工事（初年度）の着手	令和6年度自己評価　【４】計画を上回って実施している。
令和7年度	2後-①令和7年4月～令和8年1月 新学部棟の新築工事の設計監理（2年目）（R7.7.3承認） 3-①令和7年4月　新学部に関するホームページの更新 3-②令和7年4月　新学部開設シンポジウムの開催（R8.3.19承認） 3-③令和7年4月　特別連携高等（DXハイスクール等）との高大接続連携事業の開始（R8.3.19承認） 3-④令和7年5月～12月　高校生を対象としたオープンキャンパス・説明会の開催（R8.3.19承認） 3-⑤令和7年6月～12月　入学者確保のための高校訪問（R8.3.19承認） 3-⑥令和7年8月　採用教員の赴任（１名）（R8.3.19承認） 2後-①令和8年1月　新学部棟の新築工事（２年目）の竣工 2後-①令和8年2月　ネットワーク工事の着手 2後-①令和8年2月　映像音声設備工事の着手 3-⑦令和8年2月　他大学視察に基づくFD活動及び研修会の実施（R8.3.19承認） 3-⑧令和8年3月　新学部の運用管理職員のためのパソコンの購入（R8.3.19承認） 2後-①令和8年3月　ネットワーク工事の完成 2後-①令和8年3月　映像音声設備工事の完成 3-⑨令和8年3月　松山大学情報学部外部連携委員会の開催（R8.3.19承認） ~~3-⑩令和7年4月　新学部設置計画の進捗管理・点検評価のための事務職員の採用~~（R8.3.19承認） ~~3-⑪令和7年8月　高大接続に関する協議会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑫令和7年11月　産官学連携に関する協議会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑬令和8年3月　点検・評価委員会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑭令和8年3月　入試・広報に関する実施のための検証~~（R8.3.19承認）	2後-①令和7年4月～令和8年1月 新学部棟の新築工事の設計監理（2年目）（R7.7.3承認） 3-①令和7年4月　新学部に関するホームページの更新 3-②令和7年4月　新学部開設シンポジウムの開催（R8.3.19承認） 3-③令和7年4月　特別連携高等（DXハイスクール等）との高大接続連携事業の開始（R8.3.19承認） 3-④令和7年4月　高校生を対象とした受験情報サイトへの広報 3-④令和7年5月～12月　高校生を対象としたオープンキャンパス・説明会の開催（R8.3.19承認） 3-⑤令和7年7月～12月　入学者確保のための高校訪問（R8.3.19承認） 3-⑥令和7年8月　採用教員の赴任（１名）（R8.3.19承認） 2後-①令和8年1月　新学部棟の新築工事（２年目）の竣工 2後-①令和8年2月　ネットワーク工事の着手 2後-①令和8年2月　映像音声設備工事の着手 3-⑧令和8年3月　新学部の運用管理職員のためのパソコンの購入（R8.3.19承認） 2後-①令和8年2月　ネットワーク工事の完成 2後-①令和8年2月　映像音声設備工事の完成	令和7年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	3-①令和8年4月　新学部に関するホームページの更新 3-⑤令和8年4月　新学部の運用管理職員の配置（R8.3.19承認） 3-④令和8年5月～12月　高校生を対象としたオープンキャンパス・説明会の開催（R8.3.19承認） 3-⑤令和8年6月～12月　入学者確保のための高校訪問（R8.3.19承認） 3-②令和8年9月　新学部開設シンポジウムの開催（R8.3.19承認） 3-⑯令和8年9月　松山大学愛媛県企業IT人材力強化ネットワークの策定（R8.3.19承認） 3-⑫令和8年9月　企業の求める人材のニーズ及び求人状況調査の企業訪問（R8.3.19承認） 3-⑦令和9年2月　他大学視察に基づくFD活動及び研修会の実施（R8.3.19承認） 3-⑨令和9年3月　松山大学情報学部外部連携委員会の開催（R8.3.19承認） ~~3-⑪令和8年8月　高大接続に関する協議会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑫令和8年11月　産官学連携に関する協議会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑬令和9年3月　点検・評価委員会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑭令和9年3月　入試・広報に関する実施のための検証~~（R8.3.19承認）		令和8年度自己評価　リストから選択してください。
令和9年度	3-①令和9年4月　新学部に関するホームページの更新 3-④令和9年5月～12月　高校生を対象としたオープンキャンパス・説明会の開催（R8.3.19承認） 3-⑤令和9年6月～12月　入学者確保のための高校訪問（R8.3.19承認） 3-②令和9年9月　新学部開設シンポジウムの開催（R8.3.19承認） 3-⑫令和9年9月　企業の求める人材のニーズ及び求人状況調査の企業訪問（R8.3.19承認） 3-⑦令和10年2月　他大学視察に基づくFD活動及び研修会の実施（R8.3.19承認） 3-⑨令和10年3月　松山大学情報学部外部連携委員会の開催（R8.3.19承認） ~~3-⑪令和9年8月　高大接続に関する協議会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑫令和9年11月　産官学連携に関する協議会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑬令和10年3月　点検・評価委員会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑭令和10年3月　入試・広報に関する実施のための検証~~（R8.3.19承認）		令和9年度自己評価　リストから選択してください。
令和10年度	3-①令和10年4月　新学部に関するホームページの更新 3-④令和10年5月～12月　高校生を対象としたオープンキャンパス・説明会の開催（R8.3.19承認） 3-⑤令和10年6月～12月　入学者確保のための高校訪問（R8.3.19承認） 3-②令和10年9月　新学部開設シンポジウムの開催（R8.3.19承認） 3-⑫令和10年9月　企業の求める人材のニーズ及び求人状況調査の企業訪問（R8.3.19承認） 3-⑯令和10年9月　松山大学愛媛県企業IT人材力強化ネットワークの活動開始（R8.3.19承認） 3-⑦令和11年2月　他大学視察に基づくFD活動及び研修会の実施（R8.3.19承認） 3-⑨令和11年3月　松山大学情報学部外部連携委員会の開催（R8.3.19承認） ~~3-⑪令和10年8月　高大接続に関する協議会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑫令和10年11月　産官学連携に関する協議会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑬令和11年3月　点検・評価委員会の開催~~（R8.3.19承認） ~~3-⑭令和11年3月　入試・広報に関する実施のための検証~~（R8.3.19承認）		令和10年度自己評価　リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和6年3月　情報学部情報学科　設置認可申請予定	令和6年3月　情報学部情報学科　設置認可申請	
定員減又は 学部等の廃止	令和6年3月　80人減員に係る認可申請予定	令和6年3月　経営学部経営学科60人減員に係る認可申請（入学定員340人、経済学関係） 令和7年4月　経営学部経営学科60人減員（入学定員340人、経済学関係）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	松山大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学

ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学

ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
右の〇の要件を満たしていない						〇		〇						

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）
⑥	情報学部の設置に伴う他学部の入学定員の減少数80名の予定が、経済学部経済学科の入学定員の変更は行わず、経営学部経営学科の入学定員60名の減少のみとなった。
⑦-2	愛媛県とデジタル人材育成のための学部の設置・運営に関する連携協定を締結し、その連携内容の中で、カリキュラム等の策定・運用・評価に関することで協力することとなったため、設置前の段階で当初予定していた「松山大学情報学部カリキュラム検討委員会」を立ち上げることなく、教員採用も含めて設置申請に関する事前協議を行った。

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施

□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施

□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	松山大学

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
地域の大学として、地域のニーズを取り込んで、地域・企業が持つ具体的な課題を題材に、地域や企業と協働したPBL型教育を行うことで、課題の解決に取り組みながら、学生たちに学んだ知識や技術を社会の中で活かす方法を実践的に教育することを計画している。これにより、学生たちは在学中から地域課題に取り組むことが可能となり、このようなPBL型学習は、学生と地域企業を繋ぐ役割を果たすこともできる。 申請前現在は正課外の社会連携活動ではあるが、すでに本学情報系教員によって、愛媛県南宇和郡愛南町と連携して愛南町における地域の課題に対してデジタルマーケティングやデータサイエンスの知見を活用して学生たちとともに解決するための取組（活動名「愛南マダイ応援隊」）や株式会社AOI Pro.と連携した取組として、愛媛県の地域の観光PRのための映像制作（活動名「撮り旅」）を行っている。そのため、情報学部を開設した後は、企業や自治体と連携したPBL型科目として具体的に実施できる下地はすでに存在しており、支障なく正課科目として開講することが可能である。	教育課程の編成において、社会実践科目群の中に、プロジェクト科目として2年次配当「プロジェクト実践」および3年次配当「マネジメント実践」を配置し、地域の企業・団体と連携して、デジタル技術の活用によって課題の解決を進め学びを深めていく予定である。2026年度に「プロジェクト実践」の授業が開講するため、参加希望の企業・団体に対するアンケートとともに、受講希望の学生を募集し、選択科目ながらも166名の情報学部新2年次生が履修を希望した。計11の企業・団体における課題解決型授業（PBL）を始める予定である。この科目を通じて実社会にある課題に取り組むことによって、チームで取り組むための他者と協働する力や課題発見・解決力、リーダーシップ等を身に付け、情報技術から新しい価値を創造することに主体的に取り組むことができる力を育む。 【協力企業・自治体】 ピクトグラム株式会社、ＪＲ四国ソリューション株式会社、愛媛綜合警備保障株式会社、南海放送株式会社、四国旅客鉄道株式会社、愛媛CATV、愛媛新聞社、松山市役所、セキ株式会社、株式会社新来島どっく、佐川印刷株式会社	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
- ■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- □ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- □ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学では、毎年度6月1日に愛媛県下の高校50校ほどの進路指導担当教諭や3年生担任教諭を招いて大学説明会を開催しているため、そこで情報学部についての情報を広く周知することが可能である。また愛媛県教育委員会より、高大連携についての検討依頼を受けていることから、県内の高校を対象とした推薦入試等の実施についても予定している。また、四国中央市教育委員会とは連携協定を結んでおり、特に情報系教育についての出張講義等の実績を多数有している。入学者選抜については、2025年度入学試験での実施を目指して情報系資格の取得などを組み合わせて科目を見直すことなども検討予定である。また、女子学生の志願者を増やすための方策として、メディアデザイン系のコースを設定するほか、女性に配慮した施設の整備や女性教員の積極的な採用を計画している。また情報学部の新設を契機に自治体とも協力して、保護者や高校等の教員が持つジェンダーバイアスをなくしていくための取組を進めていくことを検討中である。	初年度にあたる2025年度入学者選抜では，各試験区分ともに募集人員を充足し、女子学生47名を含む計186名の入学者を得ることができた。2027度入学者選抜から一般選抜Ⅱ期日程において選択科目として「情報Ⅰ」を加えることを予告し、サンプル問題を公開している。松山大学では愛媛県教育委員会と連携協定を締結し、先行して連携していた私立の新田高等学校に加え、13校の特別連携校との取り組みを強化することになった。情報学部では、特に理数情報科を新設する伊予高等学校や情報科学科を新設する小松高等学校をはじめ、出張講義や探究活動の支援などで各校との連携を強化しているところである。すでに高等学校ＤＸ加速化推進事業に採択された愛媛県内の学校との連携を進めているところであるが、情報処理学会の中高生情報学研究コンテストでは、探究活動の成果を発表する愛媛県内の高校生をサポートし、3件の全国大会発表を記録した。2025年度は、情報学部に特化したミニ・オープンキャンパスを計12回実施、のべ1,009名の高校生等が参加し、関心の高さがうかがえる。オープンキャンパス（情報学部ミライ体験ツアー）のほかゲームジャムなど高大連携型のイベントも開催し、学生で組織された情報学部PRアンバサダーによって高校生向けに情報学部の魅力を発信している。女子学生の確保に向けて、済美高等学校普通科情報コース向けのオーダーメイドオープンキャンパスを実施し、参加者81名（１年生及び２年生：全員女子）を得るなど志願者数の増加を目指している。 【特別連携校】 三島高等学校、新居浜東高等学校、小松高等学校、松山北高等学校、松山商業高等学校、東温高等学校、伊予高等学校、大洲高等学校、宇和島南高等学校、松山南高等学校砥部分校、宇和高等学校（ただし情報学部に関係する学校に限る）	

大学名	松山大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	情報学部情報学科（工学関係）

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定	認可	開設																
事業計画に定める定員		入学定員	人			120	120															
		編入学定員	人			-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	120	120															
		入学者数	人	-	-	186	143															
		女子学生数	人	-	-	47	33															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	120	120															
		入学者数(B)	人	-	-	186	143															
		女子学生数	人	-	-	47	33															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	0	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	1.55	1.19															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	120	240															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	186	325															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	1.55	1.35															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	0	0															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	29	33															
		授業科目の単位数	単位	-	-	32	62															

大学名	松山大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	120	120															
		入学者数	人	-	-	186	143															
		女子学生数	人	-	-	47	33															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	120	120															
		入学者数(B)	人	-	-	186	143															
		女子学生数	人	-	-	47	33															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	0	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	1.55	1.19															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	120	240															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	186	325															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	1.55	1.35															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	0	0															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	29	33															
		授業科目の単位数	単位	-	-	32	62															

大学名	松山大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1350	1350	1410	1410															
		入学者数	人	1377	1328	1509	1609															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,350	1,350	1,410	1,410															
		入学者数(B)	人	1,377	1,328	1,509	1,609															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.02	0.98	1.07	1.14															
	収容定員等	収容定員(C)	人	5600	5600	5660	5720															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	5665	5656	5826	6014															
		編入学者数	人	70	74	76	66															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.01	1.01	1.03	1.05															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定		開設											
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	68,591	90,429	91,964	74,330	110,029	193,820	76,080	72,776											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金	千円	85,574
本事業による助成金の額(F)	千円	1,276,445
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	117,486

特記事項

３.大学(学士課程)の状況の「収容定員等」におけるＲ５年度、Ｒ６年度、Ｒ７年度及びＲ８年度の編入学定員０人とは、若干名を意味している